



1. 移住・定住 ・ 集落維持

移住定住・空き家対策の推進
人口減少、担い手不足に
あえぐ集落を維持・存続して
いくための仕組みづくり

テーマ

主な事業

●移住定住・空き家対策（企画政策課）1,412万6千円

①移住定住を促進するため住宅改修や通勤費などの支援などを行い、受け入れ態勢を整備する。そのほか、移住定住コーディネーターを配置し、移住や定住希望者への支援やフォローアップを行う。

▶移住定住促進住宅整備費補助金（600万円）

移住者または若年世帯などが定住目的で住宅を新築、購入またはリフォームする場合に、必要な費用の一部を助成（補助率1/2、上限100～150万円）

▶空き家家財道具等処分費補助金（80万円）

町空き家バンク登録物件に入居する場合に、登録物件の家財道具などを処分するための費用を助成（補助率10/10、上限40万円）

▶移住者通勤費支援補助金（228万円）

町外に通勤する移住者を対象に通勤費の一部を助成（上限月額2万円）

②お試し住宅の運営（94万3千円）

町内の空き家を活用。短期間滞在のほか、交流スペースとしても貸し出し、日野町を具体的な移住先として検討してもらう。

④あゆ奨学金（日野高校入学等支援および小中学生教育支援）48万円

移住世帯に町内の小中学校、日野高校に入学や転入する生徒がいる場合、児童・生徒1人につき、月額1万円を支給する。

拡 生活交通確保対策事業（企画政策課）560万7千円

タクシー以外に交通機関を利用することが困難な人を対象に、タクシー運賃補助を行い、病院や買い物など生活に必要な交通手段を確保する。年間最大48枚を交付。今年度から対象年齢を75歳以上から70歳以上に引き下げたほか、公共交通空白地（久住・畑）在住の対象者には、助成券の枚数を年間最大96枚に拡充する。

新 特定地域づくり事業（企画政策課）15万円

特定地域づくり事業推進法に基づく「特定地域づくり事業協同組合」設立に向けての準備・検討を行う。組合を設立し、その支援を行うことで、地域づくり人材や安定した雇用の確保を図り、若者が地域に残ることができる仕組みをつくる。

新 集落支援事業（企画政策課）420万4千円

集落支援員を配置し、過疎や少子高齢化が進む地域の声を聴きながら、集落機能・生活機能を維持していくための仕組みをつくる。

また、地域活動支援交付金制度を拡充し、自治会への支援を強化。地域活性化のきっかけづくりを図る。

▶地域活動支援交付金制度（交付対象：自治会）

集落活性化型A…交付率10/10、上限2万円

集落活性化型B…集落点検や地域づくりに向けた話し合い、または、集落機能の維持・保全・向上に関する事業を取り組む自治会に対し、集落活性化型Aに上乗せして交付する。交付率10/10、上限3万円

日野町
今年の

「まちのしごと」

共に住んでよかったと
思えるまちづくりを

今年は
こんなこと
やります！



町では、今年度もさまざまな事業を計画しています。主なものを紹介します。

新：新規事業

拡：事業の拡充

4. 産業・雇用

農業の存続に向けた
新たな一手
まちの特色を生かした
産業・観光の振興を図る



●農業振興（産業振興課）397万9千円

農家の意欲向上や生きがいを図るため、さまざまな振興策を展開する。

- ①販売野菜等種苗費補助金（125万6千円）
- ②海藻肥料普及補助金（142万4千円）
- ③ **新** 農業機械購入補助金（75万円） など

中古農業機械を購入する際にその費用の一部を助成する。

拡 日野町農林振興公社運営費補助金（産業振興課）1,623万円

農地を守る最後の砦として機能強化を図る農林振興公社を支援する。今年度は、事務職員を1名増員するほか、機器（マニアスプレッダー）を購入する。

新 畜産堆肥活用推進事業（産業振興課）49万2千円

堆肥利用による循環型農業を取り入れる地域や農家に対し、堆肥散布費や堆肥運搬費を補助する。

拡 畜産振興（産業振興課）587万1千円

経営規模拡大を目指す畜産農家を支援するほか、畜産業の将来の担い手として、地域おこし協力隊を新たに受け入れる。

●商工振興（産業振興課）397万9千円

商工会による福よせ雛やスタンプラリーなどの取り組みや、新たに取り組む観光振興事業を支援する。

- ① **拡** 日野町商工会振興事業補助金（350万円）
賑わい創出事業、観光振興事業、特産品開発事業
- ②商品力魅力アップ支援事業補助金（160万円）
- ③創業等支援事業補助金（50万円） など

新 新規観光事業（産業振興課）94万5千円

①奥日野星空プロジェクト（17万5千円）

天体観測に最適な日野の魅力を町内外にPR。夏に滝山公園で「星空観望会」を開催する。

②インバウンド観光推進事業（30万円）

英語版の観光リーフレットを発行し、町の魅力発信や誘客プロモーションに活用。交流人口の増加を図る。

③ JR 根雨駅観光活用事業（47万円）

JR 西日本「WEST EXPRESS 銀河」の乗客に対する町特産品販売や観光PRなどのおもてなしを行う。

●奥日野たたらの里づくり推進事業（産業振興課）515万8千円

ふいご祭、都合山たたら跡など、「たたら」をキーワードとしたまちづくりや観光資源づくりに取り組む。

2. 子育て・幼児教育



家族が安心して
子育てできるまちに

●子育て世代包括支援センター（ネウボラ）

（健康福祉課）145万1千円

妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援と各種の支援サービスを行う。

- ①ファミリーサポートセンター事業（6万5千円）
- ②育児パッケージプレゼント事業（33万円）
- ③すくすく子育て支援事業（105万6千円）

●家庭子育て支援事業（健康福祉課）245万円

生後6カ月から3歳に達する児童が保育所に入所せず、家庭内で子育てしている世帯に給付金を支給し、家庭での子育てを支援する。

支給額：1人につき月額1～3万円

●病児・病後児保育事業（教育委員会）363万3千円

病気にかかっていたり、病気の回復期で集団保育が困難な児童を専用の保育室で預かることで、子育てと仕事の両立を図る。

3. 学校教育・社会教育



ふるさとに愛着を持ち
まちの将来を担う
人材を育てる

新 ふるさと教育推進事業（教育委員会）723万4千円

日野郡3町が連携して取り組むふるさと教育を推進。今年度は、郡内に公設塾を開講し、将来ふるさとに貢献できる人材を育てる。

新 高等学校等通学支援事業（教育委員会）206万6千円

県内の高等学校などへ通学する学生に通学費支援を行う。月額6,000円（日野高校生徒：1,500円）を超えた額を助成する。

●高等学校等修学支援事業（教育委員会）200万円

町在住または入寮などにより一時的に町外に住んでいる高校1年～3年生を対象に、年額2万5千円の奨学金を給付する。